



相談室だより

2026 年2月

「グエー死んだンゴ」

毎日の通勤中に、NHK の AM ラジオを聴くことが私の日課です。2025 年 11 月 19 日のラジオ放送で、予約配信に対する社会の反響の話がありました。

「グエー死んだンゴ」とは 2010 年代に掲示板で生まれたネットスラングで、相手の言葉にショックを受け、死んだふりをする時などに使われてきたそうです。今回の発信者である北海道大学の学生である中山さんは「類上皮肉腫」と闘って 12 日に亡くなりました。「類上皮肉腫」は、年間 20 人ほどしか発病しない希少がんの一つです。中山さんは 10 日の投稿で「多分そろそろ死ぬ」と記し、12 日夜に亡くなりました。その後、14 日に生前に予約配信していた投稿が X で掲載され、社会に反響を起こしました。生前は、何度も何度も死にそうになったときに、事前に予約配信しておき、生き延びたら予約配信をキャンセルし、危なくなったら予約配信するということを繰り返していたそうです。手術や抗がん剤治療を続けながらも、ユーモアを交えたひょうひょうとした語り口で発信を続けてきた中山さんに、X では感服の声が上がり、「グエー死んだンゴ」に対するお約束の返答となるネットスラング「成仏してクレメンス！」と書く返信が相次ぎました。それだけでなく、投稿をきっかけに「香典」として、医療機関に寄付する動きも広がり、1000 万円以上の寄付が寄せられたそうです。他にも、献血や骨髄バンクへの登録を表明する投稿があるなど人々に影響を与えました。

SNS は使い方によっては、他者を傷つける毒にも、他者を救う薬にもなる。できれば、薬になるような使い方を心がけたいですね。また、窮地に陥っても、「グエー死んだンゴ」と明るくふるまえる精神的なタフさは、なかなか真似できませんが、自分の悩みを誰かに伝えることはできるかもしれません。誰しもが悩みを持っています。一人で悩まず、些細なことでも近くの友人や家族、信頼できる大人、または SNS, AI などいろいろな人やモノに頼りましょう。世の中には、自分の考えや思いを受け止めてくれる人、共感してくれる人、応援してくれる人が必ずいます。

1 年学年主任 宮崎 雄一

教育相談室では、学校生活での悩み、家庭での悩み、生活行動上の悩み、生活の中での不安など、解決の手助けができたと思っています。誰かに話を聞いてもらえるだけで、心が軽くなります。どんなささいなことでも気軽に相談に来て下さい。

スクールカウンセラーの来校日

原則火曜日（13:00 から 17:00）

相談室は、本館 1 階進路指導室の隣です。